

奈良県生協連 2019年1月 NO.111



紡いでゆく、みんなの防災「紡災ヴィラ」奈良県労済生協



防災フォーラム 2018 一大阪府北部地震に学ぶー



食の安全懇談会 森田 満樹氏

もくじ

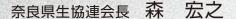
おじゃましました~奈良県労済生協の巻~…6
フードバンク奈良活動報告会7
防災フォーラム8
3.11を忘れない 9
第6回 いきいき健康まつり 10

2019年1月号

新年のごあいさつ



新しい年は、国連の持続可能な開発目標SDGs推進をめざし、 「誰も取り残さず」安心して暮らせる、たすけあいのある 住みよい地域づくりに果敢に挑戦し、前進する年に





奈良県生協連の会員及び組合員のみなさん、新年おめでとうございます。昨年は奈良県生協連の様々な活動に対し、大きなご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

今、世界では自分勝手な「新自由主義」の嵐 が吹き荒れ、格差と貧困、差別と不平等、排 外主義が広がる中、共に生きる「共生・協同 の価値 |を礎にした生活協同組合の運動を強 めることは重要です。世界の協同組合員は10 億人を超え、各国の地域や社会のニーズに応 えて約300兆円もの事業を生み出していま す。この間、こうした活動が認められ、国連 教育科学文化機関(ユネスコ)が協同組合を無 形文化遺産に登録されたのは、誠に喜ばしい ことです。協同組合は、地域での仕事づくり、 子ども高齢者の支援、再生可能エネルギーの 普及など多様な社会問題にも取り組んでいま すが、国連は「協同組合モデルを社会矛盾の 最善の解決策」とし、2030年に向け定めた「持 続可能な開発目標(SDGs) | では「あらゆる 人々の活躍」「地域活性化」「循環型社会」な どの課題を掲げて協同組合の役割に大きな期 待を寄せています。奈良県においても、ひと りぼっちをなくし「誰も取り残さず」安心して 暮らせる地域づくりをすすめることが求めら れており、当連合会といたしましても微力であ りますが、SDGs推進の担い手の一員として、 組合員と消費者の願いを土台に、安心なくら しと住みよいまちづくりの活動をすすめ、県 行政のご指導をいただき、よき連携のもとに 役割を発揮していきたいと存じます。

昨年、「平和とよりよき生活のために」、生活協同組合の活動をすすめる私たちにとって、嬉しかった出来事は、核兵器のない世界をめざして、2020年国連総会にむけて核兵器廃絶条約の締結をすべての国に求める「ヒバクシャ国際署名」にほとんどの首長さんのご協力賛同をいただき、多くの県民市民の皆さんの賛同署名を得たことです。今年も、これらの「ピースアクションinなら」の諸活動に継続して取り組んでいきたいと考えます。

奈良県生協連として、食とくらし、平和、環境とエネルギー、福祉、防災の5つの問題にかかわってきましたが、今年も「たすけあい協同の精神」を奈良県のすみずみに行き渡らせ、農協さん、森林組合さん、労働金庫さんなど協同組合の仲間との連携を強め、奈良県並びに県下市町村の皆さん、奈良県社会福祉協議会、奈良県地域婦人団体連絡協議会をはじめとした各団体の皆さんとの連携を強め、5つの問題にかかわりつつ「地域共生コミュニティづくり」を力いっぱいに広げ更なる前進に備える年にしたいと思います。

奈良県生協連に集う会員役職員、組合員の皆さん、奈良県の組合員のくらしの向上のために、組合員の参加を土台にして、さらに奮闘いたしましょう。今年の干支は亥(いのしし)。協同組合原則に従い、勇猛果敢に挑戦し、活動と事業を前進させることが大切です。協同組合の活動を奈良県のすみずみに今年もすめてまいりましょう。

平成31年新年ごあいさつ





奈良県知事 荒井 正吾

奈良県生活協同組合連合会、会員生協及び 関係者の皆様、明けましておめでとうござい ます。

平成31年の年頭にあたり、皆様のご健勝と ご多幸を心からお祈り申し上げます。

さて、平成の御代が終わりを告げ、新しい御代が始まります。125代目の天皇から126代目の天皇にお替わりになられますが、50代までの歴代天皇が奈良の地で治政をお執りになり、わが国の礎を築いていただいたことは奈良県民の最も誇りとするところです。9年前の2010年に開催した平城遷都1300年祭では、今上天皇に奈良を「父祖の地」とおっしゃっていただいたことも誠にありがたいことと存じます。

新しい御代になっても、わが国も奈良県も 共に発展し、世界の多くの人々から尊敬を集 め続けることができますように、奈良の神々に 祈り、努力し続けたいと思います。

最近の県勢の動きについて、いくつかの事 例を紹介します。

奈良県総合医療センターの建設・開院、朱 雀門ひろばの開園など形で見えるもの以外に も、がん死亡率の減少幅(全国1位[2005年~ 2015年])、健康寿命(男性全国3位・女性全国 18位[2016年])、工場立地件数(全国7位 [2018年上期])、就業地別有効求人倍率(近 畿1位[2018年9・10月])、障害者雇用率(全 国1位[2016年、2017年])など、数字で見る ものも良い結果が出ています。これらは、県 民の皆様のご協力のおかげだと心から感謝し ています。

また、県庁東側のバスターミナルが姿を現し始め、この春には開業します。奈良市の大宮通り新ホテル・交流拠点には多数のクレーンが立ち並び、来年の春にはまちびらきができます。平城宮跡歴史公園では南門の建設が始まり、3年後には完成します。昨年11月に起工式が行われた高畑町裁判所跡地の宿泊施設は来年の春に、旧奈良監獄のホテルは再来年の春に完成予定です。

これらの事例をはじめ、奈良県はまだまだ発展する力を秘めていると思います。飛躍・発展の大きな弾みとなるのが、2037年に予定されるリニア中央新幹線の全線開業に伴う「奈良市附近」駅の設置です。同駅が県勢発展のための最適な場所に確定され、その周辺を発展させることが極めて重要です。また、昨年11月には、2025年の大阪万博の開催が決定しました。これは、インバウンド需要の中心として、奈良の観光をさらに大きく発展させる契機になると考えています。

奈良の飛躍を夢に見つつ、皆様にとりまして幸多き年になりますようお祈り申し上げます。

最後に、皆様には今後とも地域のコミュニティづくりや高齢者支援など、様々な社会的問題の解決への取組をより一層推進していただくことを期待するとともに、貴連合会及び会員生協の皆様のますますのご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。本年もよろしくお願いします。

(3) 2019年1月号

然伝之奈良県生協連会長が厚生労働大臣表彰を授賞しました

10月30日、厚生労働省講堂において「厚生労働大臣表彰式」が行われ、森宏之奈良県生協連会長が「消費生活協同組合法制定70周年記念厚生労働大臣表彰(個人表彰)」を授賞しました。この表彰は、消費生活協同組合法制定を記念し法の理念にのっとって健全な事業運営を行い、他の模範と認められ消費生活協同組合及び消



受賞した森会長

費生活協同組合連合会、組合員役員に対しその功績をたたえ、合わせて組合の健全な発展に寄与することを目的に 厚生労働大臣から表彰されるもので、5年に1回実施されています。今回は、生活協同組合(連合会)30組合、個人40 人が授賞しました。

たが原生協理のみなさんが 次が原生協理のみなさんが で来訪されました



大分県生協連のみなさん

10月12日に大分県生協連役員視察研修で青木博範会長以下10名の県連役員のみなさんが来訪されました。奈良県生協連からは森会長、新田事務局長が参加しました。奈良県生協連の活動の紹介の後、協同福祉会あすならハイツ恋の窪施設長の東浦さんから協同福祉会とあすならハイツ恋の窪の概要について説明されました。その後ハイツを見学されました。



なら健康・省エネ住宅を推進する県民会議主催 地域創生シンポジウムが 開催されました

12月15日奈良県文化会館において、なら健康・省エネ住宅を推進する県民会議が主催する「地域創生シンポジウム」が開催されました。



パネルディスカッション

新潟県見附市市長の久住時男氏が「健幸な街、住宅づくりで地域創生」をテーマに講演され、街全体を「健幸」にするスマートウェルネスシティについて紹介されました。食生活や運動、生きがいと健診の4本柱のもと、社会参加(外出)しやすい場を市街地に作っていくなどの施策をすすめています。続いて首都大学東京名誉教授の星旦二氏が「ねんねんコロリからぴんぴんコロリのまちへ」と題した講演で、健康長寿のためのくらし方について話されました。

最後のパネルディスカッション「なら県民会議を軸に奈良県を健康長寿日本一に」では、奈良県医療政策局健康 推進課課長の辻本智宏氏からの報告も交えながら、住まいから始まる家族の健康について話し合われました。 2019年1月号 (4)

2018年度 第2回 「生協・行政協議会」 を 開催しました

11月15日、奈良商工会議所において2018年度第2回目の生協・行政協議会を開催しました。

奈良県消費・生活安全課から田中利亨課長はじめ4名のご出席があり、奈良県生協連役員との懇談を行いました。奈良県生協連は10月に2019年度県政への要望書を提出しましたが、その要望項目に対する担当各課からの回答について丁寧に説明していただきました。その後、医療と介護、消費者教育、食品安全などについて交流しました。消費者問題では大学の入学時企画やキャリア教育との連動、国からの交付金が削減されるなかでの効果的な活動支援などについて意見が出されました。国連が提唱する持続可能な開発目標SDGs推進の担い手として、行政も生協も共通の認識や課題があり、日頃のコミュニケーションが今後さらに大切になることが再確認された協議会となりました。

● 奈良県生協連「2019年度奈良県行政に向けての要望書」のポイント

1. 食の安全安心の施策についての要望

- (1) 食の安全行政推進のための財政と人的体制の確保。
- (2) 流通広域化に伴う食中毒被害拡大防止や健康食品被害監視強化。ならHACCP普及、消費者への意識啓発。
- (3)「倫理的消費」や「食品ロス」についての消費者教育。

2. 安心してくらせる地域づくりのための施策についての要望

- (1) 誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせる地域をめざし、「奈良県域地域福祉計画 | の積極的推進。
- (2) ボランティアに支えられた子ども食堂の活動が継続でき、輪が広がるための支援。
- (3) 県民とも連携し、保健医療・介護一体化と健全な地域医療の構築に向けた諸計画の推進。
- (4) 日常の防災対策や災害発生時の連携協力関係について具体的な話し合いをするための定期懇談の開催。

3. 消費者行政の推進についての要望

- (1) 地方消費者行政充実のための諸施策の前進及び積極的な交付金活用など予算確保。
- (2) 消費者の利益擁護支援事業を担う団体に対する県政からの継続的支援。

「第2次奈良県消費者教育推進計画」策定に向け 平成30年度 奈良県消費生活審議会 第1回消費者教育部会が 開催されました

平成30年度奈良県消費生活審議会第1回消費者教育部会が10月10日、奈良市内で開催され、奈良県生協連からも委員として出席しました。

平成28年度に策定された奈良県消費者教育推進計画は30年度に期間が終了し、31年度からの第2次計画を策定することになるため、部会では計画案作成とすすめ方についての協議が行われました。2次計画の方向性の説明と第1次計画の検証について説明があり、消費者庁の新指針(H30)と奈良県の現状を踏まえての第2次計画骨子案が示されました。平成34年には改正民法施行で成年年齢引き下げへの対応が必要、また誰でもどこでも教育を受けることができることをめざし若年層の取り込みや連携が重要になります。「未成年・高齢者など多様な消費者への啓発と教育の推進」、「連携と協働による教育・啓発の活性化」、「人材育成」、「自立した消費者の育成」の達成目標を柱に論議をすすめ、議会審議を経て3月には第2次計画が確定されるとのことです。

(5) 2019年1月号



講演会「食品衛生法改正でどう変わるのか?」 開催

10月22日、奈良商工会議所にて、第11回食の安全懇談会を開催しました。

2018年度は、食品衛生法が15年ぶりに改正されたこともあり、奈良県生協連の会員生協の理事や職員、行政の食品衛生の担当職員にも参加を呼びかけました。奈良県や奈良市から7名の参加者を含め全体で48名の方が出席しました。

食品衛生法が久しぶりに改正され、2018年の6月13日に公布されました。国際化の流れに沿って見直しが行われ、食の安全レベルの向上が確実に期待できる内容が多くなったとのことです。しかし、残念ながら今回の法改正は消費者にはあまり知られていません。

食品衛生法改正によって、わたしたちの食の安全がどう強化されたのか、食品安全についてどんな取り組みが行われているのか、科学的根拠に基づく食情報を提供する消費者団体FOOCOM(フーコム)の代表の森田満樹さんに講演していただきました。また県の取り組みとして奈良県版HACCP自主衛生管理認証制度(ならハサップ)の取り組みを中心にお聞きしました。

食品衛生法改正では、詳細が決まっていない部分もあり、参加者からの質問も活発に出され、学ぶ機会となりました。



奈良県消費・生活安全課 課長補佐 本岡直樹氏



一般社団法人 FOOD COMMUNICATION COMPASS: FOOCOM(フーコム)の森田 満樹氏

■改正の背景

- ・食品衛生法改正から約15年を経過。
- ・世帯構造が変化し、調理食品、外食・中食への 需要の増加などで食のニーズが変化。
- ・輸入食品の増加など食のグローバル化が進展 し、国内の食品を取り巻く環境が変化した。
- ・都道府県を超える広域的な食中毒の発生。
- ・食中毒事故発生数の下げ止まりなど食品による 健康被害への対応が喫緊の課題となっている。
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックの 開催や食品の輸出促進を見据え、国際標準と整 合的な食品衛生管理が求められている。

■食品衛生法改正のポイント ()は施行期日

- ①広域な食中毒事案への対策強化 (2018年6月13日から1年以内)
- ②HACCP (ハサップ) に沿った衛生管理の制度化 (2年以内)
- ③特別の注意を必要とする成分等を含む食品による 健康被害情報の収集(2年以内)
- ④国際整合的な食品用具・容器包装の衛生規制の 整備・容器包装のポジティブリスト制度の導入 (2年以内)
- ⑤営業許可制度の見直し及び営業届制度の創設 (3年以内)
- ⑥食品のリコール情報の報告制度の創設(3年以内)

今年は関西でも自然災害が多発したこともあり、平成に起った大災害の記憶と教訓を次の時代へと「紡ぐ」ことが必要と、奈良県労済生協さんが防災イベントを開催しました。晴れあがる秋空のもと盛大に行われた「紡災ヴィラ」の会場におじゃましました。

970279990

1F 能楽ホール

- 13:00 基調講演「災害から身を守るために」
- 13:30 基調講演「天気予報の見方・聞き方〜 防災情報はこう使う!〜」
- 14:45 第1部学生によるパネルディスカッション
- 16:00 第2部ワークショップ

2F レセプションホール

- 12:00 開会挨拶
- 12:00 パフォーマンス [Hyouge Rope]
- 12:40 健康体操
- 13:50 パフォーマンス [Hyouge Rope]
- 14:20 健康体操
- 15:00 湯煮温によるジェルキャンドル 出張教室

17:00 閉会

基調講演

「天気予報の見方・聞き方~防災情報は こう使う!~」気象予報士 片平敦氏

災害時に発信される防災気象情報を 上手に活用し災害から身を守る方法 について詳しく解説、災害から命を 守るには地域の力とひとりひとりの 思いやりの心 [共助] が大切である ことが伝えられました。





①Hyouge Ropeによるロープの パフォーマンス



②避難所で元気に過ごせる 健康体操

基調講演

「災害から身を守るために」 奈良県総務部知事公室次長 (防災統括室長) 中西秀人氏

ハザードマップなどで地域の災害の 特性を知り避難行動を確認すること、 生命の安全確保が最優先であること などのお話がありました。



③小山理事長の開会挨拶



④簡単に作れる防災グッズ



⑤医療生協による 健康維持管理のコーナー



⑥防災かふぇ

奈良教育大学と奈良県立大学の学生によるパネルディスカッション「大学生が"紡ぐ"これからの防災のかたち」

① 「防災活動」から「地域づくり」へ ②歴史文化財の防災対策 ③災害時の交通インフラ確保 ④防災活動からのつながり―について議論し、「災害発生時の情報共有」が共通の課題に浮かび上がりました。奈良県に多い外国人来訪者への情報共有対策は「誰もがわかりやすい日本語」! そんな視点でのワークショップも行われました。

そして、まとめは

- ①過去の経験や教訓を未来へ「紡ぐ」こと
- ②防災の意識をあなたから「紡ぐ」こと
- ③防災を自分のこととして「紡ぐ」こと……の3点。

みんなで、紡いで いきましょうね!!! (7) 2019年1月号

つっぱいのの意見「活動」報告会』

フードバンク奈良の設立から11月で10か月が経過しました。 2018年9月からフードバンク奈良にならコープが場所を提供し て活動を開始したこともあり、提供場所のコープふれあいセン ター六条にて、現在の活動の状況について報告する会が、11 月3日に開催されました。(共催:ならコープ)

報告会には、こども食堂や生活困窮者支援団体、奈良県マーケティング課や奈良市福祉部などの行政の方、社会福祉協議会、市議会議員や報道関係者など63人が参加されました。



会場はいっぱいになりました



渡辺代表あいさつ



自立援助ホームあらんの家の浜田進士さん



会場からの活発な質問

フードバンク奈良の渡辺一城(かずくに)代表とならコープの中野素子理事長からのあいさつの後、フードバンク奈良とならコープの取り組み報告がありました。生駒市環境モデル都市推進課の大窪奈都子さん、たわわ食堂の溝口雅代さん、生駒市社会福祉協議会相談員の廣田節子さん、自立援助ホームあらんの家の浜田進士さん、多機能事業所すたんどあっぷの濱本学さんの5つの団体より、活用事例発表がありました。

生駒市では、フードドライブを食品ロス削減事業に位置付け、3か月ごとにフードドライブを実施し寄付していただいています。ならコープでは共同購入キャンセル品を9月から毎週寄付していただき、他団体から寄付された食品と合わせて、2018年9月末までに2.2トンをのべ112の登録団体にお渡ししています。食品提供を受ける各団体も、生活支援や地域づくりや心を届けるツールにと、フードバンクの食品がいろんな形で役立てられていることがわかりました。食品を提供する側は励みになり、受け取る側も思いを伝えられたことと思います。奈良県生協連はフードバンク奈良に役員を送るとともに、賛助団体として支援しています。

■◎■◎ フードバンク奈良の主な活動記録 ◎■

2017年

7~8月 近隣府県のフードバンク視察見学

10~12月 設立準備会 12月設立

2018年

1月27日 設立記念セミナー

奈良市職員フードドライブ食品寄贈

3月 生駒市環境基本計画推進会議 (Eco-net生駒) フードドライブ

5月 天理市職員互助会フードドライブ

平群町ごみ減量フェスタフードドライブ 6月 ならコープフードドライブ

Eco-net生駒フードドライブ

8月 平群町社協こどものフードドライブ なら小地域福祉活動サミット

9月 ならコープコープふれあいセンター六条開設・フードバンク奈良の活動拠点となる。 広陵町ゴミ減量フェアのフードドライブ ならコープよりキャンセル品を毎週寄贈

10月 奈良市はぐくみセンターパネル展示

11月 活動報告会開催

天理環境フォーラムでフードドライブ

12月 Eco-net生駒、奈良市HUG2祭りフードドライブ、 斑鳩町エコフェスタフードドライブ

主に行政の行うフードドライブの食品を受け取り、県内の子ども食堂や生活支援を行う団体にお届けしました。

●主催: 奈良NPOセンター、近畿ろうきん地域共生推進室

●共催:奈良防災プラットフォーム連絡会

防災フォーラム 2018 が開催されました

■大阪府北部地震に学ぶ 各団体の強みを生かした取り組みに向けて■

12月13日、奈良県産業会館において奈良防災プラットフォーム連絡会が「防災フォーラム 2018 (近畿ろうきんパートナーシップ制度事業)」を開催しました。同連絡会は奈良県生協連も参加する、災害発生時に迅速かつ効果的な救援活動を行うための県域ネットワーク組織で 2006年発足、21 団体が参加しています。大阪府北部地震の事例に学びどのような活動ができるかを考えるフォーラムとして開催されました。

第1部【講演】

「大阪府北部地震における おおさか災害支援ネットワークの動きと課題」



講師の 小林 政夫さん

講師:社会福祉法人大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター 小林 政夫さん

平時から顔の見える関係のゆるやかなネットワークで、地震発災時は大阪ボランティア協会が事務局を担当し技術系支援や要配慮者支援などの部会で活動。北部地震を経験して様々な課題が見えてきた。災害時の事務局機能を担う資源の確保については常時雇用ができればよいが財源面などで実現は難しいこと、また支援ニーズのマッチングや多様な参加団体同士の考え方の調整が必要になること、などが挙げられました。さらに災害関連団体以外の例えば、障がい者支援団体などとの普段からのコミュニケーションも大切ということです。

第2部【分科会】



第1分科会

①「要配慮者支援」

報告:認定特定非営利活動法人ゆめ風基金 事務局長 八幡 隆司さん 発災時に要配慮者を探すのでなく日常から顔を知っている関係を築くことが重要。 障がい者の他、外国人や女性、LGBTなど多様な特性に応じた支援が必要との問題 提起がありました。



②「災害ボランティアセンターの実際」

報告:大阪府社会福祉協議会地域福祉部 ボランティア・市民活動センター主任 長三 紘平さん

北部地震でのボランティアセンターと社協の初動期の動きや、本部機能の役割など を共有し話し合われました。



第3分科会

③「ボランティアの確保」

報告:奈良県青少年・社会活動推進課他

奈良県災害ボランティア本部の設置と運営の説明のあと、平成23年台風12号災害時の奈良防災プラットフォームによる被災地支援活動をふりかえりました。

再エネネットワーク連絡会(第1回)

10月29日、やまと会議室(奈良市)にて、地域未来エネルギー奈良主催の再エネネットワーク連絡会(第1回)が開催され、奈良県エネルギー政策課、県環境政策課、奈良市、生駒市および奈良県生協連、再エネ協同基金、奈良ストップ温

暖化の会、奈良環境カウンセラー協会、サークルおてんとさんなど環境 NPO含め、25名が参加しました。国際動向や全国の動き、奈良県のエネルギー政策、薪ボイラー導入の天理駅前ゲストハウスの事例紹介、北海道電力のブラックアウトや2019年以降の余剰電力買い取り終了の問題など全国の電力事情の報告がありました。行政やNPO・生協からの活動の状況報告の共有があり、奈良県生協連からは森会長が出席し、「なら健康・省エネ住宅を推進する県民会議 | の取り組みについて紹介しました。



会議全体の様子

3.11を忘れない みやぎ生協から 被災地・宮城のいまをお伝えします

★★*復興を担う女性たち *★*

「復興の目撃者になってください」 ホテル・エルファロ共同事業体

2018年12月5日

「震災で両親も旅館も失った。親の死が受け入れ られず事あるごとに泣いていた。家族には涙を見 せないようにしていたけど、娘たちが気付いて "お母さん泣いていいんだよ"と言ってくれたんで す」。その言葉で、佐々木里子さん(ホテル・エル ファロ共同事業体代表) は再び旅館を営む決意をし ました。

女川町にあった旅館や民宿の半分以上が津波で 被災したなか、佐々木さんは同業者3人とともに 2012年12月、トレーラーハウス40台を活用してホテ ルをオープンさせました。ホテル名はスペイン語で 灯台という意味の「エルファロ」にし、トレーラー の外壁は「がれきの中、花畑のような心和む空間を つくりたい | とパステルカラーに彩りました。

開業から数年、エルファロはボランティアや復旧 工事関係者、視察団体などの宿泊施設として女川 の復興に貢献してきました。最近は、ボランティア を機に親しくなった町民に会いに来たり、おなが わ秋刀魚収穫祭などのイベントを楽しみに訪れた りするリピーターが増えたそうです。「もう、被災 して悲しい町ではなく、楽しく遊びに来られる町 になりつつあるんです」と佐々木さんは喜びます。

2017年8月、エルファロは女川駅のすぐそばに移 転し、新たなスタートを切りました。

駅前にはレンガ道沿いに雑貨店や飲食店が並び、 賑わいを見せています。「一歩外に出れば海があ り、手作り体験のできる工房がある。さらに女川 は水産業、商業、観光業の間に壁がないので、宿 泊やアクティビティの企画を立てる時も"これ俺た ち手伝えるよ"とすぐ応えてくれる」。

その環境を活かし、エルファロは、温泉、バーベ

キュー、ダイビング、タイル絵付け、石けん作りな ど、地元の事業者たちと連携した様々なプランを 提供しています。「町にお客様を呼ぶには"業"を 超えてつながりあうことが大切だと実感していま

佐々木さんは語り部活動などでよく「復興の目 撃者になってください」という話をします。「ペー ジをめくるように町が変わっていく。その経過を見 てください。遊んで帰った後、再び1年後に来て いただいて変化を感じてください。それが女川を 元気にしてくれますし、支援になります」。

復興という"光"を観に、もうじき8年になる被災 地へ。エルファロは名前の通り、観光客を迎え入れ る灯台となっています。



客室は全部で63室、約165名の宿泊が可能。 「エルファロも女川の町もアットホーム。 お客様を温かく迎えようという雰囲気に満ちています」と 佐々 木里子(さとこ)さん

2019年1月号 (10)

奈良県医療福祉生協 みみなし診療所

第6回いきいき健康まつり



11月23日奈良県医療福祉生協第6回いさいき健康まつりが、みみなし診療所で開催されました。

生協ホールでは体力測定、保障、くらしと介護の相談、また西側駐車場では、奈良県医療福祉生協の地域委員会、ならコープの夕食宅配PRブース、キッチンカーを持ち込んだコープ自然派奈良、生活クラブ生協も模擬店などを出展されました。その他フリーマーケット、奈良県医療福祉生協による健康チェックなどがありました。奈良県生協連も「健康チャレンジ」ブースを出展し、「健康チャレンジシート」による健康に過ごすためのコースに取り組む宣言の呼びかけを行いました。快眠

コース、ウォーキングコース、バランスの良い食事コースなどの8コースから選び、55名の方がいずれかのコースを選択し、ボードにシールを貼っていただきました。こども向けの「けんこうチャレンジ」も「はみがき」「うんどう」「はやねはやおき」など6コースあり、こちらも22人の子どもたちが宣言してくれました。数年前から健康チャレンジ用にお渡しする景品の歯ブラシは「使い勝手がいい」と好評で、この取り組みが少しずつ広がっていると感じました。

朝からの冷え込みで少し寒かったものの天気に恵まれ、約450人の方が来場されました。



大阪ガス・関西電力・日本化学工業協会との懇談会

11月8日に関西電力との定例の電力事業経営問題懇談会、11月2日に大阪ガスとの定期懇談会、11月15日に日本化学工業協会(日化協)主催の2018年度大阪地区消費者対話集会が開催され、奈良県生協連は消費者として出席しました。毎年、全大阪消費者団体連絡会が中心となって、関西の消費者団体と企業との懇談の場を設けているものです。

関西電力や大阪ガスとは、関西を襲った台風21号の被害から今後の災害時対応の対策のことや新規でつくる石炭火力発電所などについて約2時間半に渡って意見交換を行いました。日本化学工業協会とは積水化学工業滋賀栗東工場の見学後、海洋プラスチック問題について日本プラスチック工業連盟より業界としての取り組みの講演があり意見交換を行いました。

10月

- 4日 2019年度に向けての要望書 を奈良県に提出
- 5日 近畿地方LPガス懇談会
- 5日 近畿地区府県連協議会
- 9日 ピースアクションをすすめる会
- 10日 奈良県消費生活審議会消費 者教育推進部会
- 12日 大分県生協連来訪
- 13日 生協総研第28回全国研究集会
- 22日 大和高田市長訪問
- 22日 食の安全懇談会
- 24日 橿原市長訪問
- 30日 厚生労働大臣表彰式

11月

- 2日 関西消費者団体連絡懇談会 と大阪ガスとの定期懇談会
- 3日 労済生協紡災ヴィラ
- 3日 フードバンク奈良活動報告会
- 8日 関西電力との定期懇談会
- 13日 桜井市長訪問
- 15日 奈良県生協連第4回理事会
- 15日 第2回生協行政協議会
- 23日 奈良県医療福祉生協いきいき 健康まつり
- 29日 関西地連運営員会:県連活動 推進会議

12月

- 11日 ピースアクションをすすめる会
- 13日 防災フォーラム2018
- 13日 県指導検査奈良教育大生協
- 15日 健康・省エネ住宅推進県民 会議 地方創生シンポジウム
- 19日 県指導検査コープ自然派奈良
- 26日 奈良県消費生活審議会



お知らせ

第29回奈良県生協大会

「誰も取り残さない地域共生社会へ! ~SDGsの目指すものと私たちの役割~」

開催日時 : 2019年 2月9日(土) 13:30~16:30

開催場所 : 奈良ロイヤルホテル

〒630-8001 奈良市法華寺町254-1

TEL.0742-34-1131

基調講演:「SDGs・パートナーシップ・地域社会・

生協への期待し

師 : 黒田 かをり氏 (SDGs 市民社会ネットワーク代表)

: 奈良県生協連 0742-34-3535



奈良県内の取り組み報告

- 十津川村SDGsモデル構想について
- ・一般社団法人かわかみらいふ(川上村) の取り組み
- 大学生協の取り組み

U.S.A.

歌詞

カーモンベ

・アメリ

力

も今からが本番。 らこそ街 明けると新 あ か

らと幻想的な光の祭典をどこかに見に行き が明るく映えますよ こち でも、 暗くて・ らの ね。 ま らだまだ 寒い 私もきらき 、時期だ ミネー に寒さ

某テレビ番組で放映していた。 ぎるのはときめきがなくなったから」と過日 めきを求めていろいろなことに 「大人になるとあっという間に \mathbb{H} が 経つの が早く感じるよう チャレンジ 今年はとき 一年が過 になっ 順

だったが…。 脱退声明 しょっち ても悪いイメー 「乳幼児流行語大賞2018」 「そうだろうな。 や核兵器禁止条約への う踊 ジがあった今年 2 -歳と4歳 」に選ば 対応 ア ・メリカ 0) にれたそ などと 孫も Ñ F 和

ちに行くんだ!?2019年はよい年になりま 住宅街の住民も を尽くす人たちが がると児童相談所建設に猛反対する高級 誰もが大切にされる地域をつくろうと力 いるかと思えば、 この国の未来はどっ 価が 由

